

「在宅就労セミナー2024」開催

社会福祉法人 東京コロニー

〒125-0042 東京都葛飾区金町2-8-20

助成事業の概要

本研修は、在宅で働く重度の障害者（雇用、フリーランス、施設利用者など）を対象に毎年実施されており、今回は前年に引き続き生成 AI ツールをテーマとしたものである。

- ・ テーマ：「生成 AI でもっと変わる世界」
- ・ 形式：完全オンライン
- ・ 講師：蔵元達志（くらもと たつし）氏
- ・ 開催日：2024 年 11 月 13 日（水）
13：30～15：30

講師の蔵元氏は重度障害者を対象としたプログラミングやアプリケーション開発の勉強会を長年主宰しており、その豊富な指導経験をもとに、生成 AI 技術の進化がもたらす社会や働き方への影響について具体的な事例を交えながら解説、特に障害者が在宅で就労する際の新たな可能性を、現場の視点からわかりやすく伝える内容を期待して依頼した。さらに AI ツールを活用した業務効率化や新たなスキル習得の方法についても言及し、参加者が自身の業務や生活に活かすための具体的なヒントを提供することを目指す。

参加者 在宅就労者、これから在宅就労を希望する人、支援団体関係者等 計 35 名

事業の成果

生成 AI の最新技術を活用した障害者の就労支援において、具体的かつ実践的な知見を提供したと考える。今回のセミナーでは、テーマ「生成 AI でもっと変わる世界」のもと、講師に蔵元達

志氏を迎え、その実践的な指導経験を基にした講義が行われた。

研修では、AI 生成ツール「ChatGPT」最新版を用いた具体的な活用方法が示され、参加者は日常業務に応用可能な新しいアイデアを数多く得ることができた。特に、ChatGPT のプラグインや画像生成機能の活用により、障害者がこれまでにない形で業務効率化や作業の多様化を実現する可能性が提示された。また、講師の解説により、生成 AI が提供する自動化のメリットのみならず、デメリットやリスクの点でも注意喚起も示され、適切な活用法についての理解が深まった。さらに、今回のセミナーは従来の内容から一步進み、AI を用いたプロジェクト設計や実務での具体的な適用例についても掘り下げることができたため、参加者は生成 AI を活用した新たなキャリア形成の可能性をより明確にイメージすることができた。特に、AI 技術がもたらす「社会との新しい接点」が強調され、障害者の自立と社会参加を促進する道筋を具体的に示した点は大きな成果といえる。参加者からは、「生成 AI の活用が自身の仕事や生活の質を大きく向上させる可能性を感じた」「新たなスキルを学びたい意欲が湧いた」といった前向きな声が多く寄せられた。本事業は、障害者が未来の就労環境に柔軟に対応し、自らの可能性を広げる機会を提供したといえる。

成果の広報・公表

本事業の成果は、前回との継続性を踏まえ、生成 AI 技術を活用した障害者の在宅就労支援の新

たな可能性を 2 期にわたって示した点にある。この成果を広く伝えるため、セミナーの詳細や参加者の声、具体的な事例を取り上げた報告書を作成し、関係機関や支援団体への配布を予定している。また、団体の公式ウェブサイトや SNS を活用し、セミナー内容や成果をわかりやすく発信する。当該テーマは引き続き重要なものになることが予想されるため次年度の事業計画に向けて、今回得られた知見を基に新たな提案を行い、生成 AI 技術をテーマとした勉強会やワークショップを継続的に実施する方針である。これらの情報発信を通じて、障害者の就労支援や社会的自立を促進し、多くの人々に本事業の意義を共有することをめざす。

■ 今後の展開

生成 AI 技術の習得や活用は、障害者にとって新たな就労の可能性を切り開く重要な手段である。特に、身体的制約がある場合でも高度な業務に携わることを可能にする点が大きな利点である。今後は、生成 AI 技術を用いた障害者の具体的な就労支援に的を絞り、障害特性に応じたカスタマイズされた研修プログラムに努める。また、生成 AI を活用した在宅での業務の事例を蓄積し、他の障害者や支援団体と共有する仕組みを構築することで、さらなる普及を図る。

企業等との連携も強化し、障害者が生成 AI 技術を活用できる就労環境を拡大することもめざす。これにより、障害のある人がより多様な業務に携わり、経済的自立を実現できるよう支援を継続する。